

令和四年 十月八日(土) 暮夜

小雨決行
雨天中止

開演/午後六時三十分 開場/午後五時三十分

会場/笹尾山駐車場 特設ステージ

入場料/全指定席(S席二千円(土産付き)、A席一千円) 8月24日(水)販売開始

野外朗読音楽絵巻

せきがはら

関ヶ原 夜想語

やそうがたり

◆主な出演

高台院様日記異聞

【高台院】＝豊臣秀吉の正室

通称、北政所として知られる

今世、高台院様の思いを綴った日記が見つかったとしたら
今宵、もののふ達の生き様に想いを馳せたいと存じます
鎮魂の花火とともに……



音楽家
角田和弘



俳優
関口まなと



音楽家
城宏憲



俳優
竹下景子

豊吉



主催/岐阜県・関ヶ原町

関ヶ原 夜想語

高台院様日記異聞

配役

- ◆ 高台院 俳優 竹下景子
- ◆ 石田三成 声楽家 城宏憲
- ◆ 小早川秀秋 俳優 関口まなと
- ◆ 徳川家康 声楽家 角田和弘
- ◆ 鉄砲隊 関ヶ原鉄砲隊
- ◆ 足軽他

演奏

- ◆ 尺八 横田逸山
- ◆ ヴァイオリン ビルマン聡平
- ◆ チェロ 印田陽介
- ◆ クラリネット 大成雅志
- ◆ ピアノ 粥川愛

〔音楽監督／中山博之〕

※写真撮影・動画撮影・録音・録画は禁止とさせていただきます。

概要

豊臣秀吉の正室にして、関ヶ原に参戦した幾多の武将に大きな影響を与えた高台院。かつての北政所、ねねである。

四百年の時を経て、その高台院様の日記が見つかったとしたら。そこに書かれているものは…

「夫秀吉の後を追うように、半年後、前田利家殿が亡くなりました。豊臣のなかで大きな重しが外れ、何かが転がりだしました。坂道の先に、とつもない悲劇が待っている気がしてなりません。」

〔関ヶ原夜想語〕高台院様日記異聞より

俄に動き出した盤面の駒。

運命の日に向かう様々な人間模様。

それぞれの理想、明日を描き、必死で生きる武将たちの姿。

そして、豊臣恩顧の武将たちに迫られる、東か西かの決断。

慶長五年九月十五日、関ヶ原。

彼らがここで見たものは、もののふとしての希望か、はたまた、人としての地獄か。

高台院様の架空の日記を紐解きながら、

朗読と詠唱により、兵どもが夢の跡を追う「関ヶ原夜想語」。

関ヶ原の歴史的価値を見つめる「夜限りのページェント」として、もののふたちに捧ぐ鎮魂の花火とともにお届けいたします。



ACCESS

- JR東海道本線関ヶ原駅下車 関ヶ原会場まで徒歩20分
- 交通規制区間 8:00~21:30
- 一般駐車場
- シャトルバス 東首塚～記念館～関ヶ原グラウンド 15:30~21:00 ※19:00以降は記念館には止まりません。

混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。

入場券販売

● チケットぴあ
Pコード/514268
TEL.0570-02-9111
<https://t-pia.jp/>

● 岐阜関ヶ原古戦場記念館
広域観光情報コーナー
(9:30~17:00)
TEL.0584-41-0915

◆ お問い合わせ
大関ヶ原祭2022事務局
TEL.0584-71-6132
<https://sekigahara2022.jp>

